

プロジェクトリーダー:愛知工業大学 基礎教育センター 川口洋准教授

事業実績調書

(1) プロジェクト名	「放課後教室」型学習支援プロジェクト
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	
<p>① 定期試験や部活動など学校行事によって参加する生徒の増減が見られたが、一定数の生徒の定着が見られたことは成果であり、これは学生・市民サポーターの親身な支援によるものである。3~4名の生徒に対してサポーター1人が支援につき、落ち着いた雰囲気での活動が実施できている。</p> <p>② なお、定着している生徒のなかには、社会福祉課の学習支援事業(瀬戸市学習教室ピース)の参加資格はあるものの、時間・場所などの理由で参加できない生徒がおり、「子どもの生活圏での学習支援」を実施するとこの本プロジェクトのねらいの一端が達成できたように思える。</p> <p>③ 今年度は学生サポーターに加え、NPOスタッフや地域住民など市民サポーターにも協力をいただいた。これにより多様な年齢層の大人による見守り・励ましが実現でした。</p> <p>④ 本プロジェクトにご協力いただいたNPOスタッフが近隣小学校で同様の学習支援を開設するに至った。また、校区内で地域住民や学生によって新たな学習支援が立ち上がりとしており、それに際し、本プロジェクトリーダーが立ち上げの支援・助言を行うことができた。</p>	
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	
<p>① 瀬戸市立光陵中学校図書室にて、参加希望の生徒を対象に学習支援を行った。生徒が持ち寄った教材についてわからないところがあれば、サポーターが学習指導を行った。</p> <p>② 活動時間を終業後(16:20)から部活終了時刻までとし、1時間の活動時間を確保できる期間のみ実施することとなった。そのため、当初の予定と異なり、6/14・21、7/5・12・19、9/6・13・20・27、10/4・11、2/14・21・28、3/7・14・21の合計17回の開催となった。参加生徒の募集は中学校を通じて前期分・後期分を分けて行った。</p> <p>③ 前期(6~10月)は24名の生徒(うち1年生9名、2年生3名、3年生12名)の参加申込があった。</p> <p>④ 学生サポーター8名(愛知工業大学、名古屋産業大学、金城学院大学)、市民サポーター3名に支援の協力を得た。なお、市民サポーターには運営面でも多大の協力を得た。</p>	<p style="text-align: center;">光陵中・放課後教室(2016年度後期)を実施します!</p> <p style="text-align: center;">主催: 光陵中放課後教室プロジェクト</p> <p style="text-align: center;">おうちでなかなか集められず勉強できないってことはないですか? あなたのペースでゆっくり勉強しましょう! 大学生や地域のボランティアがあなたのがんばる気持ちをサポートします</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>開催日 2月14日・21日・28日 3月7日・14日・21日(計6回)</p> <p>時 間 16:20~部活終了時刻(中継校の行事に合わせて開始時間を定めることがあります)</p> <p>場 所 光陵中学校 図書室(下足にはきかえて外階段から入室してください)</p> <p>参加費 無料</p> <p>持ち物 筆記用具・教科書・宿題など</p> <p style="text-align: center;">申し込み締め切り 2月13日(月)まで 締め切り後の参加も随時受け付けます。</p> </div> <p>放課後教室とは 受験対策のための学習塾のような場所とはちがひ、学校の宿題や基礎・基本の学習などについて、ひとりひとりが自分のペースで勉強する教室です。わからないところがあれば、サポーター(大学生や地域のボランティア)に自由に質問できます。また、参加申し込み後、各自の判断で部活動などを優先してもかまいません。</p> <p>参加するには 下の申し込み票に記入して、担任の先生にわたしてください。申し込み票には、保護者の方のサイン・印が必要です。</p> <p>保護者の方へ</p> <p>「光陵中・放課後教室」は、大学コンソーシアムと「新しい文化創造プロジェクト」の経費を用いて、光陵中学校の協力を得て、光陵中放課後教室プロジェクトが主催します。プロジェクトは愛知工業大学川口洋准研究室が中心となり、大学生や市民によって構成されており、事務局は川口(愛知工業大学准教授, 090-8076-7532, h.kawaguchi@aitech.ac.jp)が担当します。</p> <p style="text-align: center;">----- さ り と り -----</p> <p style="text-align: center;">光陵中・放課後教室(2016年度後期) 申し込み票 申込日 ____月 ____日</p> <p>(フリガナ)</p> <p>生徒氏名 _____ 年 ____組 ____番</p> <p>自宅電話番号 _____ 保護者サイン _____ 印</p>
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	
<p>① 参加生徒から「ここ(放課後教室)はバカが来るところ」との言動が見られた。放課後教室への参加が生徒の劣等感につながることはないような支援に努める必要がある。</p> <p>② 学校での開催のため、上述の通り、毎週開催が困難であった。そうした制約のなかでも丁寧な支援によって、参加生徒との信頼関係をつくっていただいたサポーターのみなさんには感謝である。</p> <p>③ プロジェクトリーダーを含む支援者と行政・学校との間で、子どもの困難や学習支援の目的など問題意識の共有が不可欠である。</p> <p>④ 本プロジェクトはサポーターの協力なしには実施できなかった。学生・市民問わずサポーターへの敬意、支援に見合った謝金の支払もまた不可欠である。</p>	